

1 本年度の重点目標

【令和7年度方針】

■大テーマ 『キャリア形成』生徒たちが将来自立した社会人として、たくましく生活していくための素地を作る。

■目標

- ①体験活動を増やし、経験を積み重ねさせる。
- ②生徒が自ら考え判断する機会を増やし、主体性を育成する。
- ③様々な意味で安心・安全な学習環境を保障し、学校への信頼感を高める。
- ④校外の学習資源を活用し、生徒たちの世界観を広げさせる。
- ⑤校内外の研修を活用し、職員のスキルアップを図る。

2 自己評価結果に対する学校関係者評価

A 達成している B おおよそ達成している C あまり達成していない D 達成していない

| 評価分野             | 評価項目                 | 自己評価   |  | 学校関係者評価  |         |
|------------------|----------------------|--|--|----------|---------|
|                  |                      | 自己評価結果   | 改善の方策  | 自己評価の適切さ | 改善策の適切さ |
| 学習指導             | ① 学習習慣の確立と基礎学力の定着    | B  | ipadを使用した「スタサプ」の取組が昨年度より、場面場面で使用する取り組みが見られた。それにより昨年度より到達度テストの結果がよくなった箇所が見られた。今後は「学び直し」の観点から内容の見直しを行っていきたい。 | B        | B       |
|                  | ② 公開授業の実施、及び授業改善への取組 | B  | 各教科でICT活用などの工夫改善が見られた。   | A        | B       |
|                  | ③ 志願者増加に向けた取り組み      | B  | 生徒主体の学校説明会の実施や他分掌と協力しながら外部に向けた情報発信を行った。  | B        | A       |
| 学校関係者評価委員会における意見 |                      | ・iPadやスタサプの取り組みについては、そのツールを使って教師側のセンスでより解りやすい説明だと更に良くなる。ただ理解するだけではなく生徒の内面側の成長につながる。・時代に即した授業展開がされている。・志願者増加に向けた取り組みは涌谷町全体でも考えていかなければならないのでは。 |  |          |         |
| 生徒指導             | ① 特別活動の充実            | A  | 体育祭や文化祭など、中心となる学校行事において、内容を改良しながら実施することができた。   | A        | A       |
|                  | ② いじめを見逃さない体制づくり     | A  | 毎月のアンケート結果の報告、聞き取り、共有など組織的な対応をとることができた。  | A        | A       |
|                  | ③ 安全教育の充実            | B  | 次年度はこれまで実施できなかった交通安全に関する講話等を検討していききたい。   | B        | A       |
| 学校関係者評価委員会における意見 |                      | ・文化部は特にすばらしい。芸術部門での特色を出していったらどうか。・安全に勉強やスポーツ、文化に集中できるように、登下校の交通安全だけではなく、校内など危険な場所の再確認を行ってほしい。  |  |          |         |
| 進路指導             | ① 進路目標の明確化について       | C  | 進路計画の伝え方を工夫し情報を伝えるタイミングを改善する。  | B        | B       |
|                  | ② 有意義な進路サポートの共有強化    | B  | 他校にない進路サポート方法を校内外での共有を強化する。  | B        | B       |
|                  | ③ 総合的な探究の時間のさらなる改善   | A  | 地域連携の成果を内外に広める方法の工夫やシンチズンシップ教育を意識した指導も検討。また、地域おこし協力隊の継続的な協力を推進し、地域とのパイプを強くしていく。                            | A        | A       |
| 学校関係者評価委員会における意見 |                      | ・適切な指導がなされている。・企業関係者や自治体等の結びつきを強化されている。・少人数なので他校にはないサポート(進路先等)出来るのではないかと。・自ら考え行動する力が不足しているという意見がある。学習の中で、未来や進路について実例等を取り入れて指導していったらどうか。      |  |          |         |
| 地域連携             | ① 地域と取り組む探究活動の活性化    | A  | 地域や企業との対話が以前より多くなり、将来や社会を考える力が身についた  | A        | A       |
|                  | ② 地域イベントへの参加         | A  | 地域と関わる機会はどんどん増えている。新たな繋がりを模索していきたい。  | A        | A       |
| 学校関係者評価委員会における意見 |                      | ・地域の人達の活動への参加や自治体との交流を通して、生徒の社会人としての意欲を高めている。・企業や施設に向いての総合的な探究の時間は良い。地域の協力も良い。・学習だけでは人間は成長しない。外部との接点は続けるべきである。                               |  |          |         |

3 次年度の課題と改善方策

| 次年度の課題              | 改善方策  |
|---------------------|---|
| ① 学力データを生かした指導改善の推進 | 朝学習や授業について、定期考査や各種学力調査の結果を活用し、指導内容や方法の見直しを行う。学年・教科で情報を共有し、生徒の到達状況に応じた指導や補充学習を計画的に実施することで、学力の定着と向上を図る。 |
| ② マナーアップの向上         | 生徒会によるマナーアップ運動を実施し、生徒たち同士で規範意識を高められるような指導をしていきたい。   |
| ③ 進路指導部計画の明確化と業務の精選 | 進路指導に関する3年計画の周知とその目的の共有を強化する。また業務の偏りや業務の見直しを行う。   |